

**DOSHISHA
GLEE
CLUB
THE
71TH
ANNUAL
CONCERT**

※ヨハン・シュトラウス
生誕150周年記念
演奏会



同志社グリークラブ

第71回定期演奏会

1975年12月1日(月)
京都会館第1ホール
1975年12月5日(金)
大阪毎日ホール

御 挨 捶

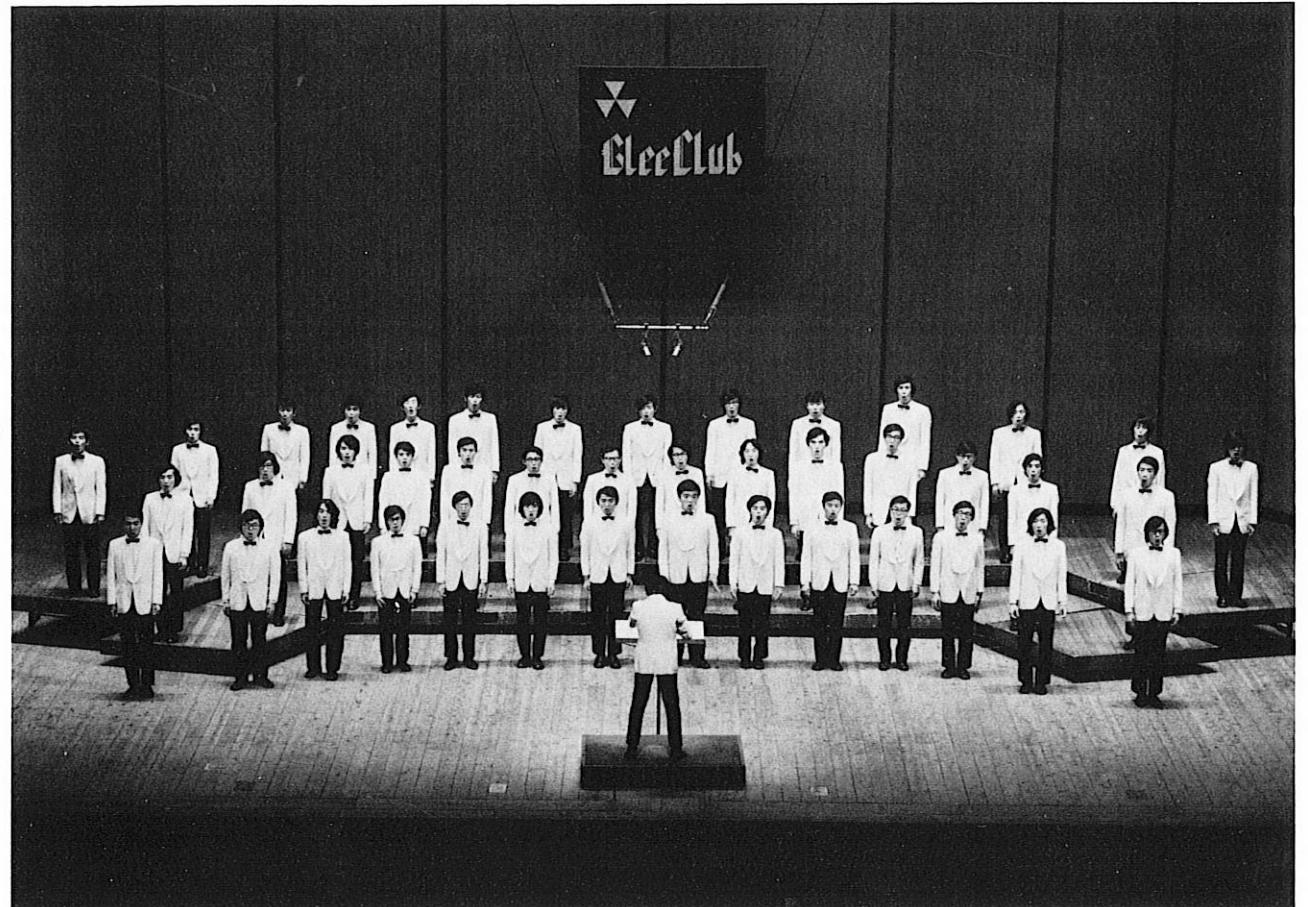
本日はお忙しいなかを私達同志社グリークラブ第71回定期演奏会に御来場いただきましてありがとうございます。

私達同志社グリークラブは昨年創立70周年を迎えたが、その春にはニューヨークで行なわれました第4回世界大学合唱祭に日本代表として参加することができ、またその秋には第1回長井賞受賞という栄誉を得ることができるという、まことに充実した、記念すべき70周年でありました。これもひとえに皆様方の暖かい御支援の賜と深く感謝しております。

これを一つの契機としまして、私達部員一同、新たな気持で今年、71年目を歩み出し、また音楽芸術の追求に努力してまいりました。今宵の演奏が御来聴下さいました皆様方に何らかの感銘を受けとつていただけましたなら、私達にとってこれにまさる喜びはございません。

最後に、この演奏会に対して多大なる御協力、御支援をいただきました京都合唱連盟、ならびに関係各位の皆様方に、厚くお礼を申し上げるとともに、今後の私達同志社グリークラブに御指導、御鞭撻を賜わりますようお願い申し上げます。

同志社グリークラブ



DOSHISHA COLLEGE SONG

One purpose Doshisha, thy name
Doth signify onelofty aim.
To train thy sons in heart and hand
To live for God and native land.
Dear Alma Mater sons of thine
Shall be as branches to the vine;
Tho' thro' the world we wander far and wide.
Still in our hearts thy precepts shall abide.

Still broader than our land of birth
We've learned the oneness of our earth
Still higher than self-love we find
The love and service of mankind
Dear Alma Mater sons of thine
Would strive to live the life divine.
That we may with increasing years have stood
For God, For Doshisha and Brotherhood

同志社大学長 松山義則

1975年も余日僅かとなりました今宵、同志社グリークラブの第71回定期演奏会が開催されますことを、本当に嬉しく思い、心からお祝いの言葉を呈上する次第であります。

グリークラブは、本年創立71周年を迎えたのであります。同志社の歴史が100年であることを考えますと、その永い歴史と伝統の重みをつくづく感じさせられるのであります。グリークラブの紹介は、いまさら私が申すまでもありませんが、男声合唱団として音楽芸術、合唱技術の向上への努力はもちろん、部員相互間のメンタルハーモニーおよびカレッジライフの向上にも不斷の精進を重ねているのであります。従って同志社にある多数の音楽団体の中でも、学内外に示した功績と栄誉は抜きんでたものがあるのみならず、日本の音楽界、合唱界に果した貢献度もまた計りしれないものがあると考えます。

また、グリークラブはアメリカ・リンカーン・センターの招請により昨年4月～5月にかけて、米国ニューヨークおよびワシントンで開催された第4回世界大学合唱祭に日本代表として参加する機会を得て、世界各国の合唱団との交歓は言うまでもなく、日本の音楽を紹介するとともに国際親善にも寄与するという画期的な功績を残したのであります。

このように、本学がまことに誇りとするグリークラブが本日の演奏会でどのような演奏ぶりをおとどけするかを、ご来場のみなさま方おひとりおひとりに十分吟味していただきたいと存じます。そして、その永い、不斷の精進の中から会得したハーモニーがどのような響きをもって表現されているかを、かみしめてお聴きとりいただきたいと存じます。

同志社は今年、創立100周年の記念すべき年を迎えます。同志社とともに永い歴史をもつグリークラブが、同志社の将来の中でどのような目標を定めていくかを私は興味深く、また、大きな関心と期待をもって見つめていきたいと考えております。

どうか、ご来場のみなさま方におかげましても、本学と本学グリークラブの一層の発展のためご高批ならびにご支援を賜わりますれば幸甚に存じます。

この催しを行うにあたりご助力くださいました関係各位に深謝いたしますとともに、本夕の演奏会が有意義に、また盛況裡に終結しますことを願ってごあいさつといたします。

同志社グリークラブ顧問

遠藤 彰

同志社創立100周年の定期演奏会に寄せて

同志社の創立は明治8年、今年で100周年となります。創立時の学生は僅かに8名。もちろん規模はしだいに大きくなりましたが、入学する学生の音楽的素養といえば、西洋音楽はいまだ移入期にあり、一般には高歌放吟の氣概を壮とする風潮のゆえに、それは皆無といってよい状態であったでしょう。しかし、多くの宣教師やその夫人たちの熱心な指導は、次第に同志社に音楽的気風の高まりを醸成させていきました。オルチンやラーネット夫人の名は忘れることはできません。

明治30年代の終り頃、東北地方の飢饉救援のための音楽会がチャペルで行なわれ、約30名の男声合唱団が演奏を行なったのでしたが、同志社の音楽はそこまで成長をとげていたわけで、やがて片桐哲先生（グリークラブ名誉顧問）たちによる同志社グリークラブの結成に結実して行なったのです。

グリークラブの定期演奏会は、今回で71回を数えます。この長い年回にグリーは精神的にも技術的にも目覚ましい成長をとげ、大学男声合唱団として世界的なレベルにまで到達しています。このことは、同志社100年歴史の裏づけのもとに築かれてきた長い同志社音楽の伝統のもとではじめて可能であったと思います。グリークラブ現部生諸君が、このことを深く胸に刻みつつ、今年の活動の仕上げを見事に果たして下さるよう祈っています。

（同志社大学宗教部長）

京都合唱連盟理事長 吉村信良

「同志社グリークラブ」の名は、聞く人々によってさまざまな意味を持っています。憧れと羨望の的、にくきライバル、高嶺の花……、そして私にとっては、おつきあいしてきた20数年間それぞれに「すばらしい仲間たち」の代名詞もあるのです。

この若い仲間たちが、昨年は多くの先輩たちの暖かい応援も得て、また自らも懸命にアルバイトなどもして念願の渡米を果たし、しかもアメリカ各地で名演奏を行なってまいりました。また昨年11月には、関西合唱連盟で新しく設けられた「第1回長井賞」を獲得したのは、その渡米の成果に加えて、地元合唱界に果たした合唱運動のすばらしさが大きく評価されたものでした。

今日の演奏会では、ここ数年来語られてきた大学合唱界の低迷ぶりを大きくはねかえして、ことし多くのフレッシュを獲得し、ゆたかな希望をはらんだ若い仲間たちのすばらしい音楽を私たちに与えてくれることでしょう。

70年の歴史を語る同志社グリーを作ってきたのは、各時代各世代のグリーメンでした。そして今から100年の歴史を作っていくのは、今日ステージで歌う今のグリーメンです。演奏会の成功と仲間たちの未来に大きな期待を寄せたいと思います。

同志社グリークラブOB会々長

松本寛二

思わぬ出来事

数日前のことだが、所用で出かけた東京で思わぬ出来事にぶつかった。常宿の新橋のホテルに着くと、なんと玄関わきの立看板に「同志社大学百周年大祝賀会場」とあるのだ。時刻もピッタリ、胸をはずませて飛びこんだら、真白な例のステージ服を着たグリーのOB達、もちろん東京クローバークラブの面々だが、いま正に開会のカレッジソングを歌おうとするところであった。私は思わず会場いっぱいの参会者の間をかき分けるようにその群れに加わって、「青空に近く」と叫んでしまった。勿論顔なじみの連中ばかり、僕も驚いたがこの連中の方が僕の飛び入りにもっと驚いたに違いない。そして食いながら、飲みながらの話はおのずからグリー時代の話に帰った。そのグリークラブが同志社の百年を記念して、今年は地元の京都、そして大阪の両地で第71回目の定期演奏会を開くという。本当にすばらしいことだ。

アメリカの演奏旅行から帰ってはや2年になる。メンバーも増え、技術的にも急上昇だと聞く。必ずやすばらしい男声合唱をそして大人の合唱を聞かせてくれることだろう。OBの一人として今回の定期演奏会は何よりの楽しみであり、期待もある。

（神戸女学院中高部長、クローバークラブ幹事長）

PROGRAM

Doshisha College Song

I MASS IN D op.86 (ミサ曲二長調)

KYRIE

GLORIA

CREDO

SANCTUS

BENEDICTUS

AGNUS DEI

作詩 W. M. Vories

作曲 Carl Wilhelm

作曲 A. Dvořák

編曲 指揮 福永陽一郎

ピアノ伴奏 笠原進

II OLD FAVORITES OF GLEE CLUB

Whiffenpoof Song

指揮 山口正

Old Tom Wilson

Ol' Ark's A-Moverin'

De Animals A-Comin'

Shall I, wastng in despair ?

Twilight

III 男声合唱のための組曲「蛙の歌」

作詩 草野心平

作曲 南弘明

指揮 北村協一

1. 小曲

2. 亡靈

3. 鰻と蛙

4. 蛇祭り行進

5. 秋の夜の会話

IV <ヨハン・シュトラウス生誕150周年記念>

Sängerlust

作曲 J. Strauss

ポルカ 歌い手の喜び(詞 J. Weil)

指揮 福永陽一郎

Wein, Weib und Gesang

ピアノ伴奏 笠原進

ワルツ 酒, 女, 歌 (詞 J. Weyl)

An der schönen blauen Donau

ワルツ 美しく青きドナウ (詞 F. V. Gernerth)

INTERMISSION

ステージの出来映えを変えるコート

本日のステージコート
作成の店

司屋株式会社

大阪マーチャンダイズマート11階
TEL 06 (943) 3100

ブルマンテン荒びき珈琲

出町 輸入食品店
京・河原町今出川角へ
TELEPHONE 231-3470



ドヴォルザークのミサ曲二長調

「新世界交響曲」「チェロ協奏曲」等の器楽曲で知られるチェコスロバキアの生んだ大作曲家アントニン・ドヴォルザーク（1841～1904）は合唱作品にも「スタバト・マーテル」「レクイエム」「テ・デウム」等、数々の名作を残しており、この「二長調ミサ曲」もその一つである。

「二長調ミサ曲」は1887年、チェコ・アカデミー総裁ヨゼフ・フラースカの依頼により、およそ3週間ほどで作曲された合唱とオルガンのための作品であったが、1892年になって管弦樂化され、1893年にロンドンで初演された。ドヴォルザークはこのミサ曲を情熱的な作品、さらに言えば、与えられた典礼唱句の制約を越えて、何よりもまず神の栄光を讃えるチェコふうの讃歌にしたいと願った。このことからもうかがえるように、このミサ曲には伝統的な宗教音樂の様式とチェコの民衆の感情との結びつきが顕著であり、冒頭からチェコ的な語調が際立っている。

ドヴォルザークはいつも神と自然を一つに見て崇拝していたが、このミサ曲は、ハイドン、モーツアルト、シューベルトなどのミサ曲の古典的な構成に従いながら、慎ましく詩情ゆたかに彼のそうした考えをあますところなく表現している。

（文責Kuma）

Kyrie Kyrie eleison. Christe eleison.

Gloria Gloria in excelsis Deo

Et in terra pax hominibus bona voluntatis

Laudamuste. Benedicimuste.

Adoramuste. Glorificamuste.

Gratias agimus tibi propter magnam gloriam tuam.

Domine Deus Rex caelstis. Deus Pater omnipotens.

Domine Fili unigenite Iesu Christe.

Domine Deus, Agnus Dei, Filius Patris.

Qui tollis peccata mundi, miserere nobis.

suscipe deprecationem nostram Qui sedes ad dexteram.

Patris, miserere nobis. Quoniam tu solus Sanctus.

Tu solus Dominus. Altissimas Iesu Christe.

Cum Sancto Spiritu in gloria Dei Patris Amen.

Credo Credo in unum Deum, Patrem omnipotentem, factorem coeli et terrae, visibilium omnium et invisibilium.

Et in unum Dominum Iesum Christum, Filium Dei unigenitum.

Et ex Patre natum ante omnia saecula. Deum deo,

lumen delumine, Deum verum deo vero, genitum non

factum, consubstantiale Patri, per quem omnia facta sunt.

Qui propter nos homines, et propter nostram salutem

descendit de coelis.

Et incarnatus est de Spiritu Sancto

ex Maria Virgine, et homo factus est.

Crucifixus etiam pro nobis sub Pontio Pilato,

passus et sepultus est.

Et resurrexit tertia die secundum Scripturas; et

ascendit in coelum, sedet ad dexteram Patri, et iterum

venturus est cum gloria judicare vivos et mortuos: cuius

regninon erit finis: Et in Spiritum Sanctum, Dominum et

vivificantem, qui ex Patre Filioque procedit, qui cum Patre

et Filio simul adratur et conglorificatur, quicunque est per

prophetas: Et unam sanctam catholicam et apostolicam ecclesiam.

Confiteor unum baptismum in remissionem peccatorum,

Et expecto resurrectionem mortuorum,

et vitam ventri saeculi. Amen.

Sanctus Sanctus. Dominus Sabaoth.

Pleni sunt coeli et terra gloria tua: Hosanna in excelsis.

Benedictus Benedictus qui venit in nomine Domini: Hosanna in excelsis.

Agnus Dei Agnus Dei, qui tollis peccata mundi: misere re nobis.

dona nobis pacem.

主よ 懐み給え。キリストよ 懐み給え。

いと高き天においては神に栄光あれ。

地上においては善意の人々に平安あれ。

我らは主をほめたたえ、主を祝し、

主に光栄を歸し奉る。

我らは御身の偉大な光栄のために主に感謝し奉る

主よ、神よ、天の主よ、全能の神なる御父よ。

御独子なる主、イエス・キリスト

神なる主、神の羊、御父の御子

世の罪をのぞき給う御者 我らを懐み給え。

我らの願いをきき給え。御父の右に座し給う御者

我らを懐み給え。御身は唯一の聖なる御者

唯一の主 イエス・キリストにて在す。

聖霊と共に神なる御父の光栄においてアーメン。

われは信ず唯一の神、全能の父、天と地、

見ゆるもの見えざるものすべての造り主を。

われは信ず唯一の主 イエス・キリスト、神の御独子、

よろず世の先に父より生まれし者を。神よりの神、

光よりの光、眞の神よりの眞の神、造られずして生まれ、

万物の造り主なる父と一体なる者を。

主はわれら人類のため、またわれらの救いの

ために天より下り給う。

聖霊によりて處女マリアより肉体を受け、

人となり給えり。

われらのためにポンティオ・ピラトのもとで

十字架につけられ、苦しみを受けて葬られ給えり。

聖書にありし如く三日にして蘇り、天に昇りて

父の右に空し、栄光とともに再び来たりて生ける

人と死せる人を葬り給う。またその国には

終ることなし。われは信ず、聖霊にして生命の

与え主なる者、父と子とより出て、父と子とともに

拝されたえられ、予言者によりて語り給いし者を。

また、唯一の聖にして普遍なる信徒の教会を信す。

罪の赦しのためなる唯一の洗礼を認め、

死者の蘇りと、来世の生命とを待ち望む。

アーメン。

聖なるかな。あらゆる万軍の神。

主の栄光は天地に満つ。天のいと高き所にホザンナ

主の御名によって來給う、御者は祝されよ。

世の罪を除き給う神の羊、我らを懐み給え。

平安を与え給え。

OLD FAVORITES OF GLEE CLUB

——山口 正氏宛に届けられた或る一通の手紙から——

山口 正君 4th, July '75

この間はごくろうさま。お疲れさま。（注 6月に行なわれた同関交歓演奏会、または東西四連のことを指しているものと思われます。）君としてはこれから演奏旅行ですね。

さて、三日ばかり前、ロバート・ショウの男声合唱のLP 23 favorites of Glee Clubというのを聴いていたら、去年 Yale の Heath さんから（注 フェノ・ヒース氏のことです。）もらつた曲集にのつての曲が数曲あり、男声合唱の魅力をあらためて感じさせられたので、君の定演のレパートリーにしたら、と思ったのです。楽譜を送ります。カセットもすぐ送るつもりです。気に入るといいのですが。君は Sea Chanty など好きでやっているようだし、合うのではないかと思うのですが。

タイトルを OLD FAVORITES OF GLEE CLUB として、1. Whiffenpoof Song 2. Old Tom Wilson 3. Ol' Ark's A-Moverin' 4. De Animals A-Comin' 5. Shall I, wasting in despair? 6. Twilight という順序でやつたら良いと思います。ロバート・ショウは楽譜を少し変更してやっているけれど、それに從つてやつたほうが良いと思います。

近頃、本来の男声合唱の魅力が忘れられてヤタラ難曲をやるのが流行だけれど、ボソボソ返つて見なおす時が来ているように思います。楽譜とテープ参考にしてみてください。

Shall I, wasting in despair?

Shall I, wasting in despair,

Die be cause a woman's fair?

Or make pale my cheeks with care,

'Cause another's rosy are?

Be she fairer than the day,

Or the flow'ry meads in May,

If she be not so to me,

What care I how fair she be?

Great or good, or kind, or fair,

I will ne'er the more despair;

If she love me, this believe,

I will die ere she shall grieve.

If she slight me when I woo,

I can scprn and let her go;

For if she be not for me,

What care I for whom she be?

Twilight

When twilight is spreading her shadow's around,

Or Luna's chaste beams make resplendent the ground,

And high clustered leaves throw their deep shade below,

'Tis then that our hearts with song overflow.

With classmates about us, dear friend's tried and true,

Who soon must, without us, life's journey pursue;

With voices united, the glad song we raise,

Oh, ne'er can return these bright, happy day's.

他の4曲の歌詞は紙面の都合上省略させていただきます。

用件だけだけど、今日はこれで。演奏旅行の成功、祈ってます。 Y. F.

1. Whiffenpoof Song

不明な点が多いが、歌詞から判断すると、アイルランド地方の歌であるようである。Whiffenpoof というのは架空の動物。

2. Old Tom Wilson

ケンタッキー地方の山人の歌。トム・ウイルソンが眼ざめたところへ雪のボールが飛んできて眼玉に当たる、という内容の大変楽しい曲。

3. Ol' Ark's A-Moverin'

不明。歌詞の内容は聖書のノアの箱舟のことがうたわれている。テナーソロとベースのかけ合いが楽しい。

4. De Animals A-Comin'

黒人靈歌。内容は3、と同じくノアの箱舟の物語である。

5. Shall I, wasting in despair?

詞はG. Wither (1588—1667) という人のもので、もと歌は古いイギリス民謡。

6. Twilight

作詞者、作曲者については不明であるが、かなり耳になじみの深い曲である。

絶望して荒れすんだ私は

絶望して荒れすんだ私。

あの女の美しさのために私は死んでしまおうか、それとも 別の女のバラのような美しさのために

私のほほは心配で青ざめてしまうだろうか。

彼女はあの日よりも美しく、

5月の花咲く草原よりも美しい。

もし 彼女が私にとってこのような存在でなければ、

彼女がいかに美しかろうとも 私は何も心配することはないのに偉大であろうが、賢明であろうが、親切であろうが、

美しかろうが、私はもう決して絶望することはない。

もし 彼女が私を愛し、これを信すれば

私は彼女が悲しむ前に死ぬだろう。

もし 私が求婚した時 彼女が私をばかにしたなら

私は彼女を軽蔑し、別れることができる。

とはいえ、もし 彼女が私のためにいるのでないなら

彼女のことなど なにも心配することはないのに。

たそがれ

曲目解説

南 弘明と「蛙の歌」

東京芸術大学音楽学部作曲科出身。（長谷川良夫、池内友次郎に師事。）第22回音楽コンクール作曲部門において一位入賞。現在、作曲活動のかたわら、東京音楽大学、東京芸術大学で教鞭をとる。作品には前衛的な手法による管弦楽曲や電子音楽等があるが、合唱曲では「中原中也の詩による三つの男声合唱曲」、「三つの蛙の歌」「混声」、「飛翔」（混声）などが有名である。

「蛙の歌」について

この作品は、昭和30年、作曲者が芸大2年在学中に作曲され、同年の芸大の大学祭において、声楽科1、2年の有志により初演された。作曲者はこれを機会に作詩者、草野心平の自宅を訪ねたり、当時彼が新宿で経営していた酒場「火の車」に出かけたりしている。作曲者はこの頃のことを「青春の重要な一駒」とあると述べている。

1. 小曲 終始遅いテンポで静かに歌われるこの曲は、組曲全体の前奏曲とも言うべき役割を果している。また、第五曲「秋の夜の会話」とも関連がある。

2. 亡靈 速いテンポのスケルツォ的な曲。尚、この詩は「蛇祭り行進」とともに、高く評価されている。

3. 鰐と蛙 何か蛇のような長いものが蛙たちの方へとやってくるので、不安げに様子をうかがっている。しかしそれが鰐だとわかつて安心する。という内容の曲。

4. 蛇祭り行進 ベースのオステイナートの上に、テナーが勇壮な、しかしどこか滑稽なメロディーを展開する。この詩には清瀬保二、多田武彦をはじめ、多くの作曲家によって作曲されている。

5. 秋の夜の会話 ハミングによるコーラスのアンサンブルをバックにして、テナーとベースのソロによって詩が歌われる。このハミングコーラスは、先に述べたように、第1曲の長調の音楽をそのまま短調に移しただけのものであるが、ソロのメロディーと相まって、しみじみとした秋を感じさせる。

（文責Kuma）

蛙 の 歌

草野 心平

月のおもてを雪がふり。
まんまるい。
にびいろ紺の雪がふり。
土のなかには。
何万の。
眠ってるだろう。
蛙の眼。
そのいくつかは見聞いて。
光ってもいる。
蛙の眼。

月はいつしかうす暗く。
幽靈よりもうす暗く。

しんしん。
しんしん

いまはなんにも見えないよ。

亡 靈

蛇めがわれの口に喰われおるわ。
みみずのように喰われおるわ。
つめたくぬるぬるしておいしいわ。

わい わい わい
らりらら らりらら
踊れるわ。踊れるわ。

脚が生えおるわ。
五本。六本。九本。十本。

わい わい わい
らりらら らりらら

うふふつ。蛇めらが逃げおるわ。
畔から。畔から。田ん畠から、畔から。

逃げおるわ。逃げおるわ。

さあみんな集りなされ。

たんばばにすかんばに火をつけなされ。

田のお祭りだ。万歳祭りだ。

わい わい わい
らりらら らりらら

青紫の。毒薬色の。

空が。田ん畠が。

ぐるぐるぐるぐる。

レンズになって廻りおる廻りおるわ。

鰐 と 蛙

カキケコ

カキケコ

ラリルレロ

ラリルレロ

ガッガッガ

ガギグエゴ

ラリルレロ

なあんだ。鰐だ。

鰐がとおるんだ。

カキケコ

カキケコ

ラリルレロ

ラリルレロ

ガッガッガ

ガギギゲゴ
ラリルレロ

蛇祭り行進

びるるるるるつ

ははははははは

ふつふつふつふつ

後足だけ歩きだした数万の蛙。

篠竹に青大将をつきさしたグリラを先頭に。

渦巻石鱗の○のよう

だいりんを描いて行進する。

びるるるるるるつ

ははははははは

ふつふつふつふつ

うまい歩調をあわせろうい。

おういもつとその篠を高くあげろうい。

どの口からもどの口からも

虫がしゅっしゅっ流れでるのだ。

びるるるるるるつ

ははははははは

ふつふつふつふつ

まっ暗闇の青たんぼを。

煙草の輪のようゆらゆらして。

虫たちが渦巻のまんまであがつゆく。

びるるるるるるつ

ははははははは

ふつふつふつふつ

行進曲は埋葬曲。
心はあかるいお祭り提灯。

そよかぜは絹のうすもの。

星畳は花箋

ろんど。

ろんど。

びるるるるるるつ

ははははははは

ふつふつふつふつ

うまいね。

ああさむいね。

虫がないでいるね。

ああ虫がないでいるね。

もうすぐ土の中だね。

土の中はいやだね。

瘦せたね。

君もずいぶん瘦せたね。

どこがこんなに切ないんだろうね。

腹だろうかね。

腹とたら死ぬだろうね。

死にたかあないね。

曲目解説

ヨハン・シュトラウスと男声合唱

福 永 陽一郎

ヨハン・シュトラウスのもっとも有名なワルツ「美しく青きドナウ」を知らない人は、めったに見あたらぬだろうが、この曲が、最初、男声合唱とオーケストラのために書かれたものだということは、日本でも、誰でもが知っているというわけではないだろう。

もっとも、シュトラウスのワルツを合唱曲に編曲してうたうことは、欧米でも日本でも、昔から、ありきたりの習慣だった。「美しく青きドナウ」は、日本に合唱がはじまって以来の、ポピュラーなプログラム・ナンバーで、「流浪の民」と「ハレルヤ・コーラス」とともに、三大合唱名曲のうちにはいっていたものである。

日本の男声合唱団で、ヨハン・シュトラウスのワルツをレパートリーにした、もっとも早い例は、1940年代に、慶應のワグネルが、「ウィーンの森の物語」をうたったというあたりかも知れない。同志社のグリークラブは、1960年頃、「ウィーンの森の物語」と「ピッチカート・ポルカ」と「美しく青きドナウ」を、私の編曲指揮で、定期演奏会のプログラムにのせている。そのときは、歌詞は日本語で、もちろん、オリジナルの楽譜など、見たこともなかった。

今年——1975年——が、ヨハン・シュトラウスの生誕150周年にあたる、ということは、実は偶然でしかない。合唱仲間の一人が、楽器商の輸入楽譜の係になったので、以前から欲しいと思っていた、カタログにもない曲の楽譜をあれこれ調べてもらっているうちに、ウィーンではなく、オーストリーの地方都市の出版社から、シュトラウスの男声合唱団の曲のオリジナル楽譜で出ていることが判明したのである。実際に入手した時と同志社グリーの今度の定演のレパートリーを物色している日時とが重なったので、生誕150周年でもあるし、初の“オリジナル楽譜による”演奏に踏みきったのであった。

今夜、演奏される三曲は、いずれも、ウィーン男声合唱協会のために作曲されたもので、カーニヴァル・コンサートや、同合唱団の創立50周年記念演奏会で初演されたものである。

ワルツ「酒・女・歌」

まさに、男声合唱団の愛唱歌となるにふさわしいタイトルであり歌詞である。ワルツにはいる前の、かなり長いイントロダクションは、ドイツの学生の酒宴の歌の雰囲気を如実に伝えている。ブラームスとワーグナーは、たがいに大変、仲が悪かったが、ヨハン・シュトラウスとは、それぞれ親密であった。そして、この二人がいちばん好きだったシュトラウスのワルツが、この「酒・女・歌」だったという。ブラームスは、この曲のメロディをテーマにピアノ曲を作曲しようとしたし、ワーグナーは、自分の65歳の誕生日に、みずからこの曲を指揮して、お祝いに集った人々を驚かせたという。

ポルカ「歌い手の喜び」

うたえば、この世は天国、といった内容のこの曲は、ヨハン・ヘルバッックの主宰するウィーン男声合唱協会が、1868年10月12日、創立25周年のコンサートを開催したときに初演された。ゆっくりしたポルカ——ポルカ・フランセーズで書かれている。

ワルツ「美しく青きドナウ」

男声合唱とオーケストラのために書かれたシュトラウスの最初の作品。オリジナルの初演よりも、同じ年、パリの万国博覧会で、オーケストラ版が演奏されたことで、いっそう有名になり、いまでは、オーストリアの非公式な第二の国歌とまで言われている。

初演のときの、ヨゼフ・ヴァイルによる歌詞は、稚拙なため評判が悪かったが、その後、フワンツ・フォン・ゲルネルトが現在の歌詞を書き、今ではこのほうがスタンダードとして認められている。

オーケストラ版にある“コーダ”が省略された形になっているのは、「酒・女・歌」とも同様で、“合唱入り”では“コーダ”をつけない習慣に従っているのである。

ラシダウス

コトブキ

京都・白川通錦林車庫前

ローランサン

美容室 3F

輸入子供服 2F



ローランサンの子供服はパリと同時発売
しかも 価格はパリとおなじです
子供の動きをじゆうぶん考えたデザイン
フランスの子供服は夢と楽しさを贈る
ローランサンで.....
輸入子供服
AURENCIN

本店 川端通二条下ル TEL 751-1955 771-2456

支店 五条大橋西北角 TEL 361-8093

お車でお越しの方は頂妙寺無料駐車場をご利用下さい。

営業時間 AM9:00~PM8:00(休日・毎月第3木曜)

歌詞対訳

Sängerlust

Wer fröhlich singt und lustig tanzt,
Ist gegen jedes Leid verschanzt;
Der Frohsinn reizet das träge Blut
Zu neuer Glut, erhöht den Mut,
Was froh ihr tut, wird Alles gut,
Seht, wie das Vöglein sorglos munter hüpf,
Wie's durch die Zweige schlüpft,
Fröhlich singt, lustig sprigt,
Leicht be schwingt,
Was das Vöglein freut in Busch
und Strauch,
Das liebt der Sänger auch,
Tanz und Sang ist ihm süßer Drang.
Was faselt ihr von einer Welt voll Qual,
So lang ein heitres Lied noch
Schallt im Erdental,
Was lästert ihr die Zeit
Und was siebringt?
Schliesst einen frohen Bund
Mit uns und tanzt und singt!
Gar flüchtig ist der Wonne Augenblick,
Wenn er euch winkt, so danket
freudig dem Ge schick;
Bewahrt der Seele reine Heiterkeit,
Dann bleibt dem Lebensherbst ein
Rest der Frühlingszeit;
Herbei, herbei,
Wer frei von des Tages Plag' sich erholen mag,
Dann her zur Stell'
Wo hier rauscht der Freude Quell!
Die reine Lust versüsst die Pein
der ernsten Lebensreise,
Und dieses Glück erblüht allein
In treuer Freunde Kreise.
Drum stimmt in unseln Jubel ein,
Seid froh nach Sängerweise;
Es ist so herrlich im Verein
beglückt zu sein!

Weih, Weib und Gesang

Der liebe Gott im Paradies
Die schmucke Rebe wachsen liess
damit der süsse Traubensaft
dem Adam gebe Muth und Kraft.
Doch dieser, noch zu unschuldsvoll,
verstand nicht, wie man es machensoll,
dass aus der Traube goldig rein
entperle süsser Feuerwein.
Da gab ihm bessern Zeitvertreib
der liebe Gott und zwar: das Weib,

歌い手の喜び

楽しげに歌い、愉快に踊る人は
悲しみにうち勝とうとする。
陽気は怠惰な血をおどらせ
意気はより新たな熱情を高揚する。
人を陽気にさせるものはみな、すばらしいものだ。
ごらん、小鳥があんなに生き生きと、何の心配もなく
枝から枝へと飛び交うのを。
楽しげに歌い、愉快に飛びはねて
軽快にはばたいているのを。
このように小鳥が茂みや灌木の中で
喜んでいるのを
歌い手もまた愛している。
踊ることも歌うことも歌い手には快い衝動なのだ。
地上に泉が こんこんと湧くように
陽気な歌は今なお長くこの世に
残っている。
何故あなたは時世を中傷したり
そんな時世をもたらしたりするのか。
ぼくらと喜びの同盟を結び、
ともに踊り そして 歌おうじゃないか！
無上の喜びなんて ほんの一時の
はかないものさ。
ぼくらは 神様の摂理によろこんで感謝の
意を表わす時、純粋な陽気な魂を持ち続ける
ことができ、その時から実ある生命に春が
残り続けることだろう。
こちらへ いらっしゃい。
日々の苦しみから解放される人は
将来、とうとうと流れる歡喜の泉の
場所へと導かれるのだ！
純粋な歡喜は陰うつな生涯の
苦悩を和らげる。
そしてこの幸福が眞の友人仲間
じゅうに生まれるのだ。
それゆえに ぼくらの歓呼は調和し
歌い手は各人各様に喜ぶ
幸福にめぐまれた団結を固く
するなんて大変すばらしいじゃないか！

(田村和男、稻熊裕之 共訳)

酒、女、歌

天国にまします神は
豊潤な葡萄を繁茂させた、
この甘い葡萄汁が
アダムに勇氣と力を与えんがために。
しかし、このアダムは、まだあまりに純で、
葡萄から金色に輝いて、甘い火の酒が
したたり落ちるのを、どうしてよいか、
わからなかった。
そこで神はアダムに与えた。
もっとよい楽しみを、つまり女を。

und Adam, nimmer mehr allein,
empfand die Lust geliebt zu sein.
Sang fröhlich ohne Leid und Plag,
den ganzen, lieben, langen Tag,
Frau Eva stimmte selig ein,
das war der erste Sang verein.
Als später für die Menschen schaar
das Paradies verloren war.
Drei Himmels gaben bliebdoch,
uns armen Menschen Tröstung noch.
Und wer nicht Wein, Weib und Sang,
der bleibt ein Narr sein Leben lang.
Schenkt ein, ich halte still,
fragt nicht welch Wein ich trinken will,
die Sorte ist mir gleich.
Lasst schäunen mir den Frankenwein,
wo nicht, so schenkt die Perle ein.
vom lieben Österreich.
Wenn dich Fortuna betrug,
wenn dich die Freundschaft betrog,
damn wird der feurige Wein
lindern der Balsam dir sein.
Hast dn viel Leiden im Haus,
woich' ihnen schleunig nraus;
dort, woder Zeiger dir wiñkt,
dort ist's wo Lethe man trinkt.
Wie Frühling—Sonnenschein kehrten
an Erden ein, zahllose Engelein,
doch ohne Schwingen.
Nennst dn ein Solches dein, schwindet dir jede Pein,
muss dir's gelingen, glücklich zu sein.
Sieh jenes Blondchen dort mit seiner Locken Gold

steht schon in Amors Sold Wähl' dir die Braune,
das ist eir schelmisch Kind, vor ihr flieht pfeilgeschwind
die üble Laune fort, wie der Wind.

Und wie so ein Kobold tief versteckt,
dich im schelmisch Wein öfters neckt,
so steckt im Mädchen, zu zärtlich und fein,
manchmal auch ein Teufelein.
Hast du etwa zwar schon lieb be rauscht
mit der Holden einen Ring getauscht,
treib'nur bei Zeiten den Teufel hin aus,
denn sonst bleibt er Herr im Haus.
Doch wer ein Weib gewann und es als wahrer Mann
schützen und leiten kann, ist zu beneiden.
Mit dem gelieb ten Mann theilt dieser Engel
dann Freuden und Leider auf ird's cher Bahn.
Lasst strömen in das Leber bell aus trener Brust
der Töne Quell, dass Jeder dran sich laben kann,

今、アダムは、もう一人ではなく、
愛されているという楽しみを感じ、
心楽しく、悩みもうさもなく歌った。
長い楽しい一日中あきもせず。
妻のイブは楽しくこれに和した。
それはこの世の初めての合唱であった。
後になって、人間の君羊にとつて
天国が失われたとき、
それでも三つの天国の贈り物は残った。
我ら貧しき人間にとつての慰めとしてなお。
酒と女と歌をもたぬものは、
生涯うつけものまだ。
お酌をしてくれ、私はじっと受ける。
どんな酒をのみいかなど尋ねてくれるな、
どんな種類であっても私には同じ。
フランケンの葡萄酒を泡立ててくれ、
それがなければ、あのオーストリアの
ペルレ酒をついでくれ。
幸運の女神フォルトゥナがお前をだましたなら、
友情がおまえをだましたのなら、
その時は次の葡萄酒が
バルサムとなって、お前の傷をいやしてくれよう。
家に多くの困りごとがあるのなら
さっさと、それから逃れるがいい。
呼び込みがお前をまねくところ、
そこは、さっぱりと飲んで忘れるところ。
春の日の光のように、地上に
帰ってきた、無数の天使たちが。
だが、翼はない天使たち。
これをしも汝のものと名づけるなら、
あらゆる苦しみが汝から消え、
幸福になることがうまく行かねばならぬ。
あそこに、愛の神アモールにやとわれて立っている
金髪の巻髪の女の子を見よ。
とび色の髪の女を選べ、いたづら子だ。
あの子の前では不気嫌は矢のように早く
逃げて行く。風のように逃げて行く
地の精、山の精がおく深くかくれていて、
ときには汝をいたずらな酒でからかうように、
女の子の中にも、やさしくかわいらしく、
ときには小さな悪魔がかくれている。
汝がもう愛に陶酔していく、
愛らしい女と指輪を交換しているなら、
さっさと、その悪魔を追い出しまえ、
さもないと、悪魔が家に君臨することになる。
だが、女を得て、彼女を眞の夫として
保護し、導きうるものは、羨ましい限り。
愛している男とは、この天使はこの地上で
喜びと悲しみを分ちあう。
忠実な胸から強く、この人生の中へと
楽しい音調の泉を流し込め。さすれば
ものみな楽しく生きることができる。

und wär' er der ärmste Mann.
Wer trüb und bang, im heit'ren Gesang
Hoffnung und Trost gewam,
ein heit'res Lied beim Gläschen Wein,
da zu im Arm ein Liebchen fein.
Nun Komme her, wer er auch wär',
Fürst oder Millionär.
Sängersmann schlicht, lächelt und spricht:
Freund, mit dir tausch' ich nicht.
Wenn das Herz uns auch nuch so schwer,
noch soleer und jede Lust von uns schied,
gab uns der liebreiche Vater doch gnädig noch
Töne für's tröstende Lied,
Und ans Herzens grund schallt der Chor,
laut empor, und wird zum frommen Gebet,
das für die Brüder all' rings auf dem Erdenball
Segen vom Himmel erfleht.
Martin Luther hat wirk lich die Wahr heit gesagt,
denn sonst hätt' das Concil damals ihn nicht geplagt,
als er sprach: Wer nicht liebt Wein, Weib und Gesang,
bleibt ein Narr ganz gewiss sein Leben lang.
Denn man braucht des halb noch kein Luthra ner zu sein,
selbst der koscherste Jud liebt G'sang, Weib und Wein.
Es hat Mahomed freilich den Wein confiszirt,
doch da für hat er sich an den Weibern re gressirt.
Kühner Muth, frisches Blut, thun ser gutin jeder Zeit,
Lieb'und Sang, Becherklang, trutzenlang der Traurigkeit.
Wie's auch geh, Kopf in d'Höh', was anch g'scheh',
bleibt uns doch sehr viel noch.
Drum ich sag', heut zu tag' Niemand mag ein Narr mehr sein.
Jeder mann denkt daran, dann und wann fidel zu sein.
Wer rerzagt, weint und klagt, der Mann war offenbar
stets ein Narr. bleibt ein Narr.

An der schönen blauen Donau

Donau, so blau,
Durch Tal und Au
Wogst ruhig du hin,
Dich grüssst unser Wien,
Dein silbernes Band
Knüpft Land an Land,
Und fröhliche Herzen schlagen an deinem
schönen Strand.
Weit vom Schwarzwald her
Eilst du hin zum Meer,
Spendet Segen
Aller wegen,
Ostwärts geht dein Lauf,
Nimmst viel Brüder auf:
Bild der Einigkeit für als Zeit,
Die Nixen auf dem Grund,
Die geben's flüsternd kund,

たとえ、彼が、この上なく貧しい男であろうと。
悲しみ、うれうものも、楽しい歌をきけば
希望と慰めをえた。
酒の杯を手に、楽しい歌、
それに加えて腕にはかわいい女の子。
さあ、おいで、誰であろうと、
王候であれ、百万長者であれ、
つましい歌人はほほえみ、いう、
友よ、あなたとは交替しない。
我々の心がたとえどんなに重くとも、
どんなに空虚で我々から喜びが離れていたとしても、
天にまします父は慈悲深くも我らに与えたもうた、
慰めてくれる歌のための音の数々を。
そして、心の底から合唱が響く、
大きく、高く、そして、敬虔な祈りとなる。
この丸い地球のいたる所にいる兄弟たちのために
天上の恵みをお祝いする祈りとなる。
アルチン・ルッターは本当に真理をいった。
さもなくば当時の公会議は彼をいじめはしなかったろう。
その時、彼はこういったのだ、酒と女と歌を愛さないものは
その一生涯、うつけもののままなのはたしかだと、
だからといってまだルッター主義者である必要はない。
清淨？垢のユダヤ人でさえ、歌と女と酒を愛する。
もちろん、モハメッドは女を徵發した。
だが、そのため彼は女たちのもとに後退した。
大胆な勇気、新鮮な血はいつの時代にも立派なことをする。
愛と歌、杯の響きは、長く、かなしみに反抗する。
たとえどんなことになろうと、頭を高く、たとえ何がおこうと
我々にはなお、多くのことが残っている。
だから私は言う、今日、誰一人、うつけものであってはならぬこと。
のみな、考へている、ときには陽気であろうと。
明らかにつねにうつけものだったと！男は
意氣消沈し、泣き悲しむものはいつまでもうつけものだ。

美しく青きドナウ

ドナウよ、紺碧の色も深く、
谷や野原をつらぬいて
お前は安らかに波うち流れる、
ぼくらのウィーンがお前に挨拶する、
お前の銀のリボンは
国と国とを結び、
お前の美しい岸辺では嬉々として心が高鳴るのだ。
はるかシュヴァルから流れ出、
海に向ってお前は流れを早める、
すべてのものに
祝福をおくりながら、
お前は進路を東にとり、
多くの兄弟たちと合流する——
いつの世も変りなき団結の象徴よ。
水底にすむニンフたちは
お前の上に青空がひろがって以来
お前が眺める一切のものを

Was alles du erschaut,
Seitdem über dir Himmel blaut.
Halt' an deine Fluten bei Wien'
Es liebt dich ja so sehr,
Du findest, wohin du magst zieh'n,
Ein zweites Wien nicht mehr.
Hier quillt aus voller Brust
Der Zauber heit'er Lust,
Und treuer deutscher Sinn
Streut aus seine Saat von hier weithin.
Du kennst wohl gut deinen Bruder, den Rhein,
An seinen Ufern wachst herrlicher Wein,
Dort auch, steht bei Tag und bei Nacht
Die feste treue Wacht.
Drum lasst uns einig sein,
Schliesst, Bruder, fest die Reih'n
Froh auch in trüber Zeit,
Mut, wenn Gefahr uns draut !
Heimat am Donaustrand,
Bist uns'r Herzen Band;
Dir sei für alle Zeit.
Gut und Blut geweih't !
Das Schifflein fährt den Wellen so sacht,
Still ist die Nacht, die Liebe nur wacht,
Der Schiffer flüstert der Liebsten in's Ohr,
Dass längst schon sein Herz sie erhor,
O Himmel, sei gnädig dem liebenden Paar,
Schutz' vor Gefahr es immer dar'.
Nun fahren dahin sie in seliger Ruh;
Schifflein, fahr immer nur zu !
Junges Blut, frischer Mut,
O wie glücklich macht,
Dem vereint ihr lacht !
Lieb' und Lust schwelt die Brust,
Hat das Grösste inder Welt vollbracht,
Nun singt ein fröhliches, seliges Lied,
Das wie Jauchzen die Lüfte durchzieht,
von den Herzen laut widerklingt.
Und ein festes Band um uns schlingt.
Frei und Treu in Lied und Tat,
Bringt ein Hoch der Wienerstadt,
Die auf's neu restand voller Pracht
Und erobert die Herzen mit Macht.
Und zurn Schluss bringt noch einen Gruss
Unser lieben Donau, dem herrlichen Fluss !
Was der Tag uns auch bringen mag, Treu
und Einigkeit
Soll uns schützen zu jeglicher Zeit, ja Treu
und Einigkeit !

ささやきながら告げ知らせる。
ウィーンの近くに来たら流れを止めるがよい、
ウィーンはこよなくお前を愛しているよ、
お前がどこに流れ行こうとも、第二のウィーンを見出すことはありはしない。
ここでは一杯にふくらんだ胸から
晴れやかな喜びの魔法が湧き出し、
忠誠なドイツの情感が
その種子をここから遠くふり撒く。
お前はお前の兄弟であるラインをよく知っているだろう。
ラインの岸辺ではすばらしい葡萄が生い立ち、
そこにはまた、昼も夜も
しっかりとした 忠実な見張が立っている。
それ故、ぼくらをひとつに結びあわせて
友よ、固くラインを護ろう、
悲しい時も心晴れやかに、
危険がおびやかす時は、勇気をもって！
ドナウの岸辺の故郷よ、
ぼくらの心のきずなであってくれ。
いつの世も変わらず、生命も財産も
お前のために捧げられてあれ！
小舟が波の上をおだやかに渡ってゆく、
夜は静かで、愛だけが目ざめている、
舟人は恋人の耳にささやく、
彼の心がとうの昔から彼女を選んでいたことを。
おお、天よ、愛しあう二人に恵みを垂れ、
いつまでも危難から護りたまえ。
いまや二人は至福な安息に入ってゆく、
小舟よ、ただひたすら進み行くがよい！
若やぐ血潮が、さわやかな気分が、
おお、結ばれた二人の者を、
なんと幸福にしつつ、笑いかけることか！
愛と歡喜が胸をふくらませる、
この世で最大のことが成就したのだ。
さあ晴れやかに至福の歌をうたおう、
その歌は歓呼にも似て、大気をつらぬいて流れ、
数々の心から声高くこだまを返し、
かくて固いきずながぼくらに巻きつくのだ。
歌と行為における自由と忠誠とが
新たに満ち溢れる榮華をとり戻した
ウィーンのまちの万才をとなえ、
力強く人々の心を征服するのだ。
そして最後にいま一度、ぼくらの愛するドナウ、
あの壯麗な流れに挨拶をおくろう！
日々がぼくらにもたらすものがなんであろうとも、
忠誠と團結とが
どんな時にも、ぼくらを護ってくれますように、
そう、忠誠と團結とが！

技術顧問 福永陽一郎



1926年 神戸に生まれる。東京音楽学校(現芸大)本科ピアノ科出身。1951年藤原歌劇団に入団し、ピアニスト、副指揮者、合唱指揮者として経験を積む。1956~65年藤原歌劇団常任指揮者として活躍され、同団の第三次渡米公演に同行。アメリカ、カナダの主要46都市での公演を指揮した。1959年、61年、63年、71年のイタリアオペラ来日公演には、日本側代表指揮者として参加し、副指揮者、合唱指揮者をつとめた。オペラのレパートリーは50数種に及び、日本オペラ界きってのベテランである。

また、合唱音楽に関する経験が深く、合唱界の第一人者である。1952年、畠中良輔と共に、東京コラリアーズを創立し、日本最高のプロ合唱團に育てた。アマチュアコーラスに対する理解と情熱も過去20年間断絶することなく持続され、客演指揮、合唱講習会の講師、コンクールの審査員として、全日本の活躍される。また、合唱用の編曲作品は数百曲を越える。

現在、東芝レコードの「現代合唱曲シリーズ」ととりくみ、合唱界の話題をよんでいる。

思うこと

今年も、定期演奏会のシーズンがやってきた。同志社グリークラブとしては、久しぶりに、人数の多い一回生を迎えての定演である。50人も割るメンバーで、デリカシイの追及だけに明け暮れした、ここ数年であった。もっとも、それなりに成功して、男声合唱というものの概念を変えたとも言われた。だが、多少、余分に手間がかかるとしても、やはり人数は多いほうが多い。

男声合唱のプログラム編成は、相変わらずむづかしい。今年は、ロマン派の作曲家の混声合唱用のミサ曲を、無理を承知で編曲したものがあるいっぽうで、昔から、グリークラブというものの魅力の原点であった、男声合唱ならではの“楽しさ”的な回顧もある。温古知新というところか。ヨハン・シュトラウスは、とにもかくにも、オリジナルの男声合唱曲である。

まったく新しいケースとして、客演指揮者の招へいがある。それも、古くからの“いんねん”に触れるすれば、『敵将』を迎えての定演は、前例がないだろう。私は、4年間しかない大学生の合唱生活で、すこしでも多くの音楽のタイプを経験することに対して、もとから大賛成の立場である。それに、今回のゲスト・コンダクターとは、もう20何年もの、「協一」「陽ちゃん」の間柄で、ひとつのコンサートをやるのに、まったく、異和感はない。

定演に話題が多いのは、活気の源泉になって、練習も心たのしい。反面、あれもこれもでアブハチとらざになる危険もある。やはり、らくではないなと思う日もあって、当日の夜をむかえるグリークラブである。

客演指揮 北村協一



昭和29年、関西学院大学経済学部卒業。在学中、関西学院グリークラブの指揮者として活躍し、卒業後、東京コラリアーズに入団する。

昭和36年、藤原歌劇団入団、昭和38年同団によるプッチーニ「外套」を指揮し、昭和40年退団。昭和43年二期会常任指揮者。昭和45年二期会専属指揮者となり、現在に至る。

第6回文化庁芸術家海外派遣研修生として昭和36年渡欧。畠中良輔、森正、今村征男の各氏に師事。現在二期会専属指揮者、東京室内歌劇場指揮者をつとめるかたわら、関西学院グリークラブの指揮もなさっている。

このステージに上るについて

この夏、四連の合同演奏に京都に来た帰り路、前幹事長の村上君から、今年の定演に1ステージをと言わされた時はいささか驚きました。天下の同志社グリーがどう気が変ったのか、私に指揮を?と思いましたし、又、長年福永先生の指揮の下で歌ってる同志社グリーのメンバーと一緒にやって果して私の思う様に歌ってくれるかどうかも心配でした。

第1回目の練習。初めはべったり、もつたりした歌で、こりや大変と思いましたが、それはお互の使い過ぎで、手さぐり状態からくるもたれを解いてからは、快調に練習は終りました。

最終的に合唱をいいものに仕上げるために指揮者は練習過程で曲に対しいろんなアプローチを試みます。まあ言ってみれば各人は独自の語法をもってするのですが、それを十分に、しかも早く理解するには、お互いにいい感覚を持っていなければなりませんが、その点同志社グリーはさすが立派です。残るは十分な練習時間と私自身の問題。私としても今回でもう沢山と言われない様、極力いい音楽を引き出したいと思っています。

ボイス・トレーナー 大久保昭男



昭和28年東京芸術大学音楽学部声楽科を卒業。矢田部勤吉氏に師事。近衛秀磨指揮、青山杉作演出によるオペラ「カルメン」のモラレス役でデビュー。山田耕作作曲、本人指揮のオペラ「黒船」、ドヴォルザークのオペラ「ルサルカ」等にも出演。昭和34年にドイツ・リート、日本歌曲によって第1回リサイタルを開く。現在、演奏に、大学合唱の発声指導に広く活躍され、東西四大学合唱演奏会に出演する大学のうち三大学が先生の発声指導を受けている。

考えてみればこの数年間、同志社グリークラブは少ないメンバーでよく頑張ってきたものだと思う。アメリカはニューヨークのリンカーンセンターでの演奏会も非常な成果を上げ、数多くの外国の大学合唱団とも比べても充分といってよい程の音楽(合唱)する力をもっていることが確認され、グリーメンも大きな自信をもったことと嬉しく思っている。

私が常々感じていること、それは「本物の音楽をする」ためのあらゆる苦しみと忍耐を惜しまことなく積み重ね、ただ音楽を愛するという純粋な心をもってすれば、必ず、貴い大きなものとなって、その苦しい仕事をしたその人本人に返って来てくれるものだ、ということである。決して裏切られたり、ごまかされたりしたことは一度もないことを自分がこの道ではっきりと知っている。

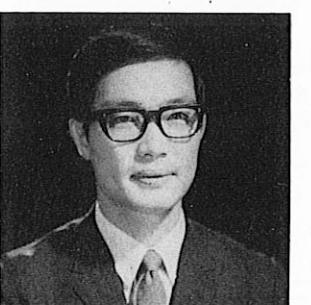
幸にも今年の春には、新しい1年が沢山入って来て、それも持ち声の良い連中と言ってもいいメンバーである。この様にグリークラブもひと廻り大きくなった今、また新しい色をつけ加えての定期演奏会として立派にやってくれる様願っている。

本当の音楽をする人は、誰でも他の人にはないあるものを持っているものである。そのあるものが一つになって音楽の流れとなったとき、それはどんな人の心をも深くうつものである。その「時」を演奏として持つことのできるグリーメンは非常な幸せ者であり、あらゆる人々に感謝の念をもってほしい。

この定期演奏会で共に歌う1年生の諸君に言いたい。今夜のこの時を心の奥深くに刻み込んで、人間としての大きな力として進んでいってほしい。

ピアノ伴奏 笠原進

昭和38年 大阪学芸大学特設音楽課程ピアノ科卒業
39年 大阪学芸大学専攻科修了
43年 アメリカ・ノースウェスタン大学音楽院修士課程修了
44年 リサイタル(毎日国際サロン)



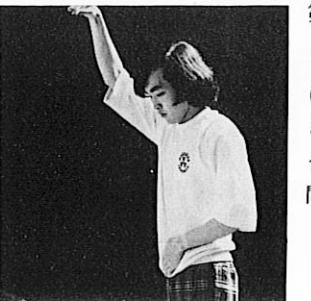
関西音楽界では独奏者としては勿論、数少ない本格的な独唱、合唱伴奏者として積極的な音楽活動をされており、福永陽一郎、畠中良輔、北村協一諸先生方から、貴重な合唱伴奏ピアニストとして賞賛を受けておられます。

現在 同志社女子大学音楽科助教授 大阪樂友協会ピアノグループメンバー。

第44代学生指揮者 山口正

大阪府豊中市に生まれ、1972年同志社大学工学部入学。同時にグリークラブに入部。幼い頃から音楽に親しみ、現在に至るまでの間に培われた豊かな音楽性と繊細な感受性を發揮し、入部後2年にしてトップテナーのパートリーダーを務め、その後副指揮者を経て、この春多田武彦作曲「雪と花火」でデビュー。第6回同関交歓演奏会では、その名演に作曲者自ら称賛の言葉を送っていました。

以来、各方面から期待され、注目を浴びています。



GLEE CLUB MEMBERS

名 誉 顧 問 片 桐 哲	幹 事 長 岡 地 尚 弘	文 連 常 任 森 島 敏 夫
顧 問 遠 藤 彰	内 政 枢 岡 哲	メサイア実行委員 山 本 英 司
技術顧問 福 永 陽一郎	外 政 八 東 基 義	〃 荒 川 匠 平
ヴォイス・トレーナー 大久保 昭 男	外政サブ 松 本 悅 次	〃 二 瓶 敏 宏
	〃 金 森 久 宙	指 挥 者 山 口 正 司
	〃 稲 熊 裕 之	副 指 挥 者 山 下 裕
	ステージ 松 本 潤 一 郎	パートリーダー
	〃 林 宏 之	1st Ten. 小 林 茂
会 計 池 田 雅 次		2nd Ten. 井 口 仁
会 計 サブ 神 吉 正 三		Bariton. 高 谷 博 次
演奏旅行 仲 達 喜 有		Bass 岡 田 正 美
資料委員 稲 垣 昌 裕		

TOP TENOR

田野 耕樹 (商・4) 広島城北高
小林 克良 (商・4) 渋川高
井上 誠 (経・4) 邑久高
山口 正 (工・化工4) 同志社香里高
伏村 淳二 (文・英文4) 夕陽ヶ丘高
小林 茂 (経・3) 同志社高
山本 英司 (経・3) 彦根東高
荒川 匠平 (商・2) 同志社高
池田 雅次 (法・法律2) 豊中高
松本 悅次 (法・政治2) 同志社香里高
仲達 喜有 (商・2) 総社高
徳山 康彦 (文・文化2) 春日丘高
深見 祥弘 (神・1) 日高高
橋口 秀雄 (商・1) 彦根東高
久恒 雅夫 (文・文化1) 四日市高
河上 誠 (商・1) 山口高
中川 義久 (法・法律1) 同志社高
中山 篤 (神・1) 立川高
瀬戸山俊郎 (法・法律1) 都城泉ヶ丘高
宇野 健史 (経・1) 同志社高
山口 彦次 (工・化工1) 新島学園高

SECOND TENER

村上 一夫 (商・4) 小豆島高
村上 利行 (経・4) 阿倍野高
山口 篤 (商・4) 柄木高
小林 郁夫 (経・4) 新島学園高

稻垣 昌裕 (文・文化3) 同志社香里高
柏岡 哲 (経・3) 城南高
八東 基義 (文・社会3) 洛東高
井口 仁 (文・文化3) 静岡東高
神吉 正三 (法・法律2) 竜野高
岡本 良治 (経・1) 花園高

BARITON

田村 和男 (法・法律4) 下関西高
高田 正 (文・英文4) 東山高
高谷 博次 (商・3) 鳴尾高
山下 裕司 (経・3) 同志社香里高
寺沢 健一 (工・電気2) 三島高
金森 久宙 (商・2) 四日市高
林 宏之 (経・2) 同志社香里高
二瓶 敏宏 (商・2) 福島高
古沢 俊彦 (経・1) 檜定
広瀬 健 (商・1) 千里高
栗川 佳彦 (商・1) 花園高

前田 茂明 (法・法律1) 八鹿高
三宅慎太郎 (法・政治1) 下関西高
大林 健 (経・1) 三島高
大西 育生 (経・1) 同志社高
神吉 正三 (法・法律2) 竜野高
岡本 良治 (経・1) 花園高

BASS

河村 淳 (商・4) 下関西高
山内 規生 (文・社会4) 同志社香里高
坂下順一郎 (文・文化4) 七尾高
有本 圭希 (文・英文3) 大阪府立盲学校
岡地 尚弘 (文・英文3) 桜塚高
岡田 正美 (経・3) 旧甲賀高
松本潤一郎 (法・政治2) 同志社香里高
稻熊 裕之 (文・文化2) 名古屋西高
藤井 俊之 (法・法律1) 同志社高
井上 伸一 (法・法律1) 早代高
中野 剛 (商・1) 同志社香里高
大西 一夫 (経・1) 崇徳高
矢ヶ崎一之 (工・機械1) 東京学芸大附属高
山田 浩二 (経・1) 同志社香里高

あなたのお好みの女性のタイプは?

◆背が高く太めの女性 (例えばマッハ文朱さん)



小林克良 (Top)

CARP優勝!!スカーレット頑張れ、タラが待ってる……26年目の春わしゃまだ23じゃ、TOMORROW IS ANOTHER DAY.

村上利行 (Second)

締切を守ってください。

井口仁 (Second)

漢字のお勉強。董、専ら、只管、勤しむ、捲る、辯る、経緯、
態と、及至、寛ぐ、恰も、購う、彌散、いくつ読みましたか?

岡田正美 (Bass)

人を愛し人から愛されることに疲れ果てた今の私にとって唯一の救いは、一人静かにブラックのコーヒーをのみながらロマン派のモーツアルトを聴けることである。

松本悌次 (Top)

雨の音がします。地面がぬれています。風が吹いています。木の葉がゆれています。ぼくが歌います。あなたの心が揺れ動いています。

寺沢健一 (Bariton)

きりゑゑゑゑゑぞん、きりしてゑゑゑゑゑぞん、御客様は神様です。

西山知之 (Second)

初めから上手な人なんているわけありません。

福沢敬 (Second)

S30、福岡市に生まれる。幼少の頃より音楽に深く感動する。
名門筑紫丘高校を経て華麗に国立一期を狙うが、何故か同志社に入り現在に至る。

◆背が高くて細めの女性 (例えばシルビア・クリステルさん)

柏岡哲 (Second)

時々淋しさに下を向いて歩きたくなることもあるが、側にはいつも微笑てくれる、グリーと君と。

金森久宙 (Bariton)

たった50字で、僕の君への気持ちを表現できるはずがあろうか…。でも、君はきっとわかってくれているだろう。ねえ、長嶋さん。

レストラン
シャトー

大阪フェスティバルホール地下

十二楼家

祇園花見小路

跡のモノ
柳月堂

1F 柳月堂
2F 名曲音楽喫茶

TEL(781)5161~4
TEL(781)5165
京都・叡電出町柳駅前

縫製用裁断設備機械・輸出用繊維刃物
輸入、国産、パターン・デザイン用器具

袖山株式会社
SODEYAMA CO., LTD.
〒540 大阪市東区内本町2の38
電話 大阪 (941) 2490-5741番
電話 大阪 (943) 0038番

あなたのお好みの女性のタイプは?

河上 誠 (Top)

常に日本と世界と、そしてあなたと僕の未来を思うもの静かな一回生が、今夜はあなたのために精一杯歌います。

宇野 健史 (Top)

今までどうにかよちよち歩きでやってきました。声を体を十分に生かし、ダイナミックに歌っていきたいと思います。

樋上 雅人 (Second)

去年までは客席でグリーの音楽をバカな顔をして聞いていた。今年は何故かステージに…えっ!?

左崎 俊彦 (Second)

わざわざ足を運んでくださって有難う。今夜は何も言わないでただ、聴いてください。

藤井 俊之 (Bass)

グリーでNo.1の記録保持者の僕であります。但し、御飯のおかわりの数の、ですが。

大西 一夫 (Bass)

まだまだ未熟(?)な1年生、おっと。でも持ち前の大きな声で精一杯歌います。えっ!? どうぞよろしく。

◆背が低くて太めの女性 (例えば小坂明子さん)



村上 一夫 (Second)

私が密かに愛したその女性は東寺の近くのとある劇場の踊り子であった。

田村 和男 (Bariton)

和子… 長いこと待たせてしまったな。やはり君の故郷に帰るべきだな、おれは。

山下 裕司 (Bariton)

去年は燃えよ! ドラゴンズ、今年はそれ行け! カーブだったが、来年こそおれは六甲おろしを歌うのだ。

瀬戸山 俊郎 (Top)

こんにちわ! グリーに入ってはや9ヶ月。やっとカレッジソングを歌えるようになりました。そして今夜……。



矢ヶ崎 一之 (Bass)

濃いコーヒーに睡眠薬を入れて飲んだみたいで。そんな気分の今日このごろ。

山田 浩二 (Bass)

今日御来場のお客様、いくらGleeが美声の持ち主の集団だからといって居眠りしないでください。ね!

橋口 秀雄 (Top)

お寒くなりました。お元気ですか? 今日は先輩の声にぶらさがりながらも頑張りますので、よろしく!

広瀬 健 (Bariton)

グリーに入ってはや、3年。増え男声合唱の魅力にとりつかれ、やる気ムンムン。同志社グリーに幸いあれ!!

三宅 慎太郎 (Bariton)

「グリークラブ ああグリークラブ グリークラブ!」といった生活になって来始めた。フレッシュ時代が懐しい!?

大西 育生 (Bariton)

性別: 男 身長: 167cm 体重: 57kg 頭蓋容量: 1360cc
健康明郎、性欲過多。TEL: 110番……?

◆背が低くて細めの女性 (例えばアグネス・チャンさん)

山口 正 (Top)

僕のこの歌が、あなたに伝われば幸せだけど、たとえ片想いにすぎなくても、やっぱり僕は歌を歌うんだ。

高田 正 (Bariton)

わたし聴く人、ぼく歌う人 ステージより愛をこめて親愛なる君に。

高谷 博次 (Bariton)

私はうたう。私の心は音楽であふれ、あなたへの想いでいっぱい。体中が音楽の響きに祝福され、私はまたうたおう。

森島 敏夫 (Second)

もっと、光を……。

松本 潤一郎 (Bass)

徒歩と京阪電車と市バスとで1時間30分。自転車で1時間40分。僕の家から練習場までの距離です。

中川 義久 (Top)

六法全書片手に図書館に入り浸っていたFlesh時代。ひと夏の経験を終え、Oldとなり楽譜片手にTOLIMAに入り浸っている今日この頃です。

あなたのお好みの女性のタイプは?

深見 桑 弘 (Top)

抵抗と服従の微妙な相関関係!! そうなんどす。小生はその犠牲者であります。毎日がおそろしあります。ほんまに。

前田 茂明 (Bariton)

前々からあこがれていた同志社グリーの一員として、この定演のステージに乗ることは夢のようです。

岡本 良治 (Bariton)

入部以来約半年。歌唱力今だ低空飛行。だがいつかソリストとしてデビューするぞ。がんばらなくちゃ!!



荒川 匠平 (Top)

体力と根性と鉄のノドで今年もがんばるトップテナー、まあこういう合唱があつてもいいよネ、なかには……。

二瓶 敏宏 (Bariton)

好きだからというそれだけの理由で、その女のために自分のすべてを投げ捨てることのできる男でありたいと願っている。

久恒 雅夫 (Top)

僕の好きな物、野分のあした、黄昏の灯、女の後れ毛、曙光、女の恥らい、プリン、秋の日溜り、そしてやはり、歌。

山口 彦次 (Top)

グリーのアイドル彦次ちゃんです。僕のファンクラブに入会なさりたい方は、グリークラブBOXまでどうぞ。

バラを10本、私のために買う朝。

営業時間
1~6F・B1 モンキーショップ 11:00AM~8:00PM
B1 シアーズ 11:00AM~7:00PM
レストラン街(7~8F)・B1 カーサ 11:00AM~10:00PM

60の専門店が集うファッションプロムナード・シルコ。

心斎橋 PARCO
大阪市南区心斎橋筋1-45 電話 大阪(245)0101

柳屋 (ハーハードタイプ・ソフトタイプ)
ヘアリキッド

大阪市東区両替町2-1
柳屋化粧品

充実した時間
京・烏丸今出川上る
一筋目西入
COFFEE HOUSE
NOW

栗川佳彦 (Bariton)

グリーに入部して数ヶ月、最近になって音楽の素晴しさと難しさがわかるようになった。



河村淳 (Bass)

閉店間際の喫茶店でコーヒーを飲みながらタバコを一服。最後の定演か。思えばマネージのためグリーに入ったようなものだった。

坂下順一郎 (Bass)

松波中学校のみなさんお元気ですか。坂下先生? も頑張ってまーす! 僕達が歌う頃は能登半島にはもう初雪がふっていることでしょう。

小林茂 (Top)

同志社創立百周年、心よりお祝い申し上げます。

八束基義 (Second)

愛すべき過去があり、それが今の私自身を作り、私達の未来を作り上げる。過去とは私にとって……。

岡地尚弘 (Bass)

グリークラブにおいては、けたはずれに世間並みの人間です。

下山正之 (Second)

アーメン……。

金子勝行 (Second)

歌をうたうことは楽しいが、高音になるとほんとうに苦しい。

◎女ぎらい (やや〇〇の気あり)

徳山康彦 (Top)

何故か、人は僕のことを「がきデカ」にそっくりだというのです。はて?

◎とにかく女性でありさえすればよい。

井上誠 (Top)

駅のほうむに一人立ちてあらぬ方を見つめたる女の瞳の淋しき。

伏村淳二 (Top)

さい果ての街、標茶は霧の中に沈んでいた……そこで見つけたもの全て、そして……。そのもの達は私の青春そのもの。

田野耕樹 (Top)

グリーが私に残したものは、あの解決しない、汚れた不協和音の響きであった。

山内規生 (Bass)

シクラメンのかほりに誘われ、いつのまにか屋根のない車に乗って旅に出ていた。昨日までの白い一日が遠い昔のように…。ああ、さらば青春!!

山本英司 (Top)

私たちには言葉の洪水に満たされ、それに不安を抱かざるを得ない。だから私達は心と目と音楽で語り合いたい。

稻垣昌裕 (Second)

虫の音にのって甘酸っぱい香りが…いつのまにか風鈴の音もなりやんだ/静かな夜の秋の香りだ。

有本圭希 (Bass)

歌を忘ぬ氣樂生。

中山篤 (Top)

Glad you like it. フリューゲルもガンバレ!

大林健 (Bariton)

音楽を創造してゆくことの難しさを徐々に痛感してきました。しかし満足できる定演にしたいと思います。

中野剛 (Bass)

くわしくは 枚方市香里ヶ丘7丁目16-1 0720-54-3563まで

1974年

12. 6 同志社グリークラブ第70回定期演奏会

12. 14 広島メサイア演奏会

12. 25 全同志社メサイア演奏会

京都会館第1ホール

広島市公会堂

京都会館第1ホール

箕面市民会館

京都会館第2ホール

皇子山ユースホステル

大阪国際ホテル

京都文化芸術会館

豊中市民会館

京都会館第1ホール

京都会館第1ホール

大阪厚生年金会館大ホール

東京厚生年金会館ホール

3. 24~29 春季合宿

4. 19 大阪ライオンズクラブチャーターズ・ナイト出演

4. 22 同立スプリングコンサート

5. 10 関西六大学公開練習

5. 25 第12回京都合唱祭

6. 3 同志社県連フェスティバル

6. 17 第6回同関交歓演奏会

6. 21 第24回東西四大学合唱演奏会

7. 26 道頓堀ガーデンロード開通記念

キャンドルコーラス出演

8. 3~8 夏季演奏旅行(新潟・十日町・札幌)

9. 8~13 夏季合宿

9. 25 蒲生中学演奏会

10. 1~2 同志社歌集レコーディング

10. 28 第2回関西六大学合唱演奏会

11. 2 大阪府立盲学校文化祭出演

11. 16 加古川演奏会

12. 1 同志社グリークラブ第71回定期演奏会

12. 5

12. 9 神戸女学院メサイア演奏会

12. 13 広島メサイア演奏会

12. 25 全同志社メサイア演奏会

長野県学生会館

シルクホール

大阪厚生年金会館大ホール

京都会館第1ホール

大阪毎日ホール

神戸国際会館ホール

広島市公会堂

京都会館第1ホール

京都会館第2ホール

1976年

2. 18 第71回卒業生のための

フェアウェル・コンサート

winkle

心斎橋店 大阪市南区心斎橋筋1丁目11番地
電話 大阪(06) 244-0678(代) 〒542
河原町店 京都市中京区河原町通三条下ル山崎町 BAL 4F
電話 京都(075) 231-5576 〒604
名古屋栄店 名古屋市中区栄3丁目4番 丸栄スクエール1番街3F
電話 名古屋(052) 262-0126 〒460
横浜三越店 横浜市西区北幸1-2-7 三越百貨店3F
電話 横浜(045) 312-1111 (2507) 〒220
六本木店 東京都港区六本木5-5-1 口ア六本木1F
電話 東京(03) 404-0449 〒150
原宿店 東京都渋谷区神宮前6丁目3番10号
電話 東京(03) 499-0388 〒150
新宿店 東京都新宿区新宿3丁目18番地1
電話 東京(03) 352-8510 〒160
三宮店 神戸市生田区三宮町1-17-4
電話 神戸(078) 331-5580 〒650

ティジンレディスショップ

株式会社 ウィンクル



自動車の部品・用品のことなら お気軽に御来店下さい。

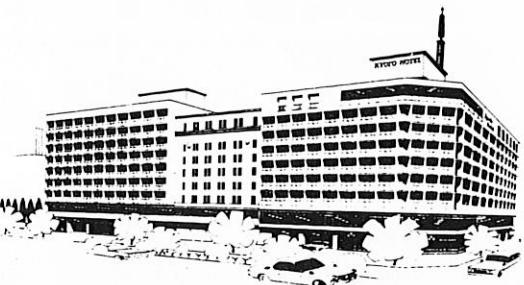
株式会社 東山商会

代表取締役 正垣 勇

本店 京都市東山区三条通東大路西入北側
TEL 761(代) 0261・0262・0263
舞鶴店 舞鶴市大手通北田辺職人町
TEL (0773) 75-1021・1022
安曇川店 滋賀県高島郡安曇川町西万木
TEL (07403) 2-0319
山科出張所 京都市東山区山科川田菱尾田 東山自動車工業内
TEL 594-3532



ご宿泊・ご宴会・お食事に



京都ホテル

京都 河原町御池
TEL 211-5111

慶弔花・稽古花・花束
ブケー・コサージ
生花一式

花フジ

京都市上京区今出川通寺町西入
TEL 京都 231-0870

LIPTON



洋葉子 喫茶 グリル
リプトン
三条店 / 京都・三条通河原町西入 電話075(221)3691丸
四条店 / 京都・四条通東側北上 電話075(221)4191丸
河原町店 / 京都・河原町通蛸薬師角 電話075(223)0391丸
木屋町店 / 京都・木屋町通四条上 電話075(221)1468丸
コーナー店 / 京都・四条通寺町西入 電話075(223)0445丸
大宮店 / 京都・新大宮通大宮上 電話075(491)187丸
大丸店 / 京都四条大丸・大人2階 電話075(211)8111丸
高島屋店 / 京都四条河原町・高島屋4階 電話075(221)8811丸
大阪店 / 心斎橋筋・大丸東横 電話06(252)0337丸
東京店 / 銀座・ソニービル5階 電話03(573)3386丸

第44回 関西学院グリークラブリサイタル

1976年1月17日(土) 神戸文化会館大ホール
1976年1月18日(日) 大阪フェスティバルホール
神戸 A 600円(全指定) B 400円(当日座席交換)
大阪 A 700円(全指定) B 500円(当日座席交換)

◆演奏曲目

Gustav Holst 男声合唱曲より	指揮 林 雄一郎
MASS NO.2 in G 作曲 Gounod	北村 协一
NANIE 作曲 Brahms	畠中 良輔
男声合唱組曲 水のいのち 作詩 高野喜久雄 作曲 高田 三郎	北村 协一
男声合唱組曲 雪と花火 作詩 北原 白秋 作曲 多田 武彦	芋野 一男
<連絡先> 関西学院グリークラブホール TEL. 0798 (52) 6471	

お知らせ

同志社グリークラブ第71回卒業生のための

送別演奏会

1976年2月18日(水) 6:30 PM.

京都会館 第2ホール

(入場無料)

同志社グリークラブ幹事長

岡地尚弘

今宵ここに皆様方のあたたかい御支援のもとに第71回定期演奏会を迎えることができますことは、部員一同この上もない喜びとするところであります。

現代の学生生活におきましては、自分自身で強く行動してゆくのは、なかなか困難な状況にあるようです。一度安樂いすに座ってしまうと、再び立ち上ることは、大変な勇気と努力を必要とします。我々の音楽は、その様な状況から、自らを救い出し、力強く立つことのあらわれであります。時には、毎日のきびしい練習の中に、押しつぶされそうになることもありますが、そこで我々を力づけてくれるのは、歌うことの歓びであります。きめられた時間内に、自らを完全燃焼させた時に感じる満足感と充実感であります。音楽芸術とは、一瞬のうちに消えてしまうものでありますが、我々の心の中には、その時あざやかに浮び出たすばらしい光景を生涯もちつづけることができるのです。当然のことながら、その様な大きな感動、胸の底からこみ上げてくる様な心の高ぶりを自らの手で作り出そうとする時、大変な困難をともなうものであります。この困難を乗り越えることが出来て初めて我々は楽しいコース以上に深く心に残る感動を手に入れることができます。

この感動を皆様とともに分ち合えることが出来ましたなら、我々の最も幸せとするところであります。

プログラム編集／稻熊裕之

工芸・喫茶

わびすけ

京都市上京区烏丸今出川上ル
京都駅前タワーデパート2階(工芸)

珈琲専門店

コーヒーショップ

京・今出川室町上ル2筋目西入

お 知 ら せ

第11回

全同志社メサイア演奏会

1975年12月25日(木) 6:30PM 開演

京都会館第1ホール

全席自由 ¥800

指揮：小泉ひろし

合唱：同志社グリークラブ

同志社女子大学音楽家有志

一般公募

管弦楽：同志社交響楽団

ソプラノ 大川 隆子

アルト 菊地 洋子

テノール 河瀬 柳史

バス 西 義一

チェンバロ 山田 貢

市内有名プレイガイドにて発売中

〈連絡先〉 同志社グリークラブBOX TEL. 075-431-9743

ヘルシンキ大学男声合唱団来日演奏会

——ハーモニーの厚さと男声合唱のもつ迫力——

1976年1月19日(月) 京都 演奏会

同志社大学学生会館ホール P.M. 6:00 開演

※連絡先 同志社グリークラブBOX TEL. 075-431-9743

1976年1月20日(火) 神戸 演奏会

芦屋ルナホール P.M. 6:30 開演

※連絡先 関西学院グリークラブホール

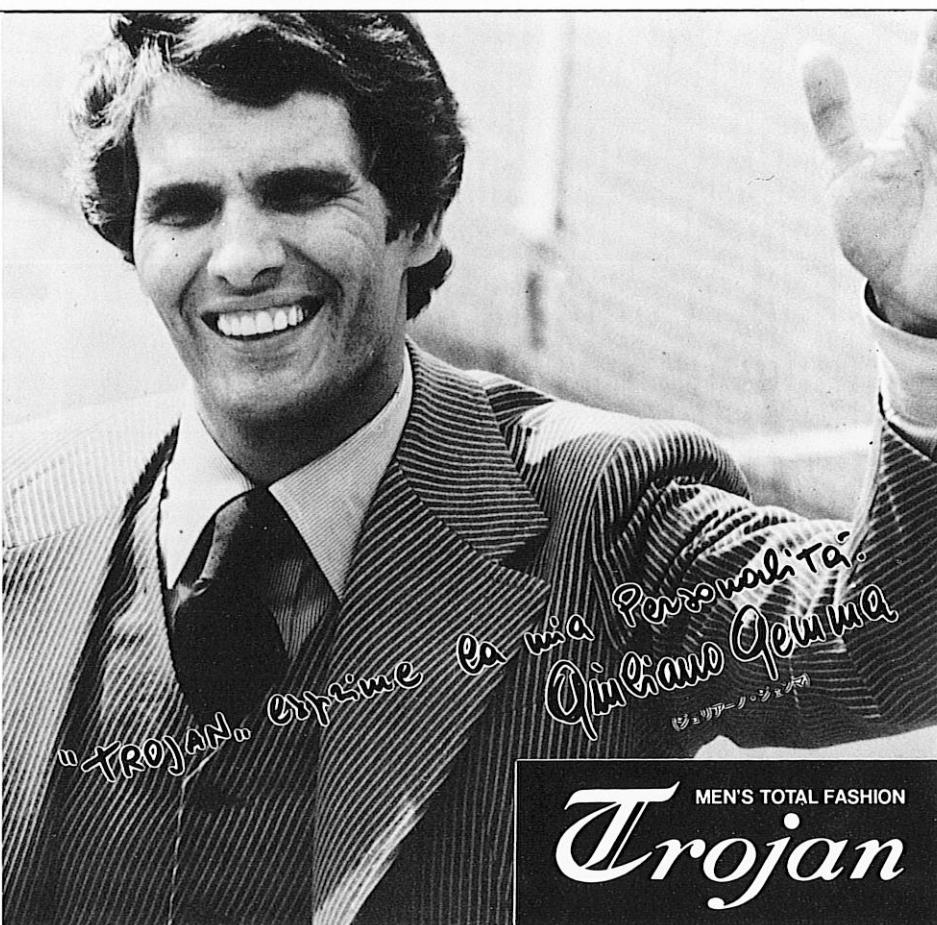
TEL. 0798-52-6471

トロージャンは私の表現。

ヨーロッパの香りをのせていま新し仲間
トロージャン・コンチネンタル登場。
笑顔を愛し、おおらかに生きる男達よ、
この新しい風に吹かれようではないか。
この新しい風に吹かれようではないか。



大阪・心斎橋
大丸
電話 (06) 271-1231



ヨーロッパの香りを乗せて、
いま、新しい仲間トロージャン・コンチネンタル登場。
笑顔を愛し、おおらかに生きる男達よ、
この新しい風に吹かれようではないか。
スリーピーススーツ(毛羽物)..... 49,000円

5階
紳士服売場



ハーティたいまる
京都 四条 大丸

トロージャンは私の表現。

